



Chiba Kogyo Bank

# REPORT 2017

ミニ・ディスクロージャー誌  
平成30年3月期 営業の中間ご報告

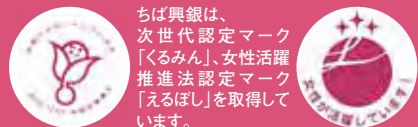
目次 Contents

ごあいさつ 1  
 中期経営計画 3  
**地域とともに**  
 「地方創生」推進への取り組み 5  
**お客さまのために**  
 地域のお客さまの  
 コンサルティング・バンクとして 8  
 サービスのご提供 9  
 安心・安全にご利用いただくために 10  
**「親切」の心で**  
 CSRの取り組み  
 ～地域社会・地域経済への貢献～ 11  
 業績のご報告(単体) 13  
 財務諸表(単体) 17  
 財務諸表(連結) 18  
 役員・株式の状況 19  
 トピックス 22

プロフィール Profile

**名称**  
 株式会社千葉興業銀行  
 [英文表示] The Chiba Kogyo Bank, Ltd.  
**本店所在地**  
 千葉市美浜区幸町二丁目1番2号  
**設立年月日**  
 昭和27年1月18日  
 (営業開始:昭和27年3月3日)  
**資本金**  
 621億2,053万3,949円  
**店舗数**  
 74店舗(県内72店舗、都内2店舗)  
**従業員数**  
 1,406名

(平成29年9月30日現在)



ちば興銀は、次世代認定マーク「くるみん」、女性活躍推進法認定マーク「えるぼし」を取得しています。

ごあいさつ

平素より、千葉興業銀行をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。平成29年度中間期の当行の経営内容や業績、CSRの取り組み等をミニ・ディスクロージャー誌にまとめました。ご覧いただければ幸いです。

平成29年度中間期におけるわが国経済は、個人消費や企業の生産活動が持ち直すなか、企業収益が高い水準を維持する等、日本経済は引き続き緩やかな回復が続きました。一方、欧米各国の政策動向による海外経済の不確実性や、朝鮮半島を始めとする地政学リスクが景気の下押し要因となる懸念があり、先行きは依然として不透明感が漂っています。

当行グループが営業基盤とする千葉県経済につきましては、個人消費に持ち直しの動きがみられるほか、倒産件数が低位で推移し、雇用環境の改善が続くなど、緩やかな回復基調を維持しております。

このような金融経済環境のもと、当行は平成28年4月にスタートさせた中期経営計画「コンサルティング考動プロジェクト2019」に基づき、具体的な戦略施策を積極的に展開してまいりました。

コンサルティング営業活動による資金需要の掘り起こしや、お取引先の資金ニーズに対应的確にお応えした結果、中小企業向け貸出を中心とした貸出金残高は順調に増加しております。

当行は「コンサルティング・バンクの確立」実現に向け、より一段と地域・お客さまのお役に立ち、ともに成長を持続していくために、お客さまを第一に考える「コンサルティング考動の実践」をコア戦略として、全行一丸となって取り組んでまいります。

今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年11月



取締役頭取・CEO

青柳 俊一

# コンサルティング考動プロジェクト2019

平成28年4月～平成31年3月

当行は、お客さま第一の“コンサルティング考動の実践”をコア戦略として数々の取り組みを行い、「コンサルティング考動」を強力に推進するための本部サポート体制を構築いたしました。

## コア戦略

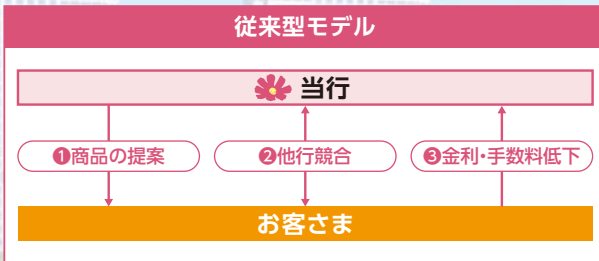
## お客さま第一の コンサルティング考動の実践

### 人材・組織基盤強化

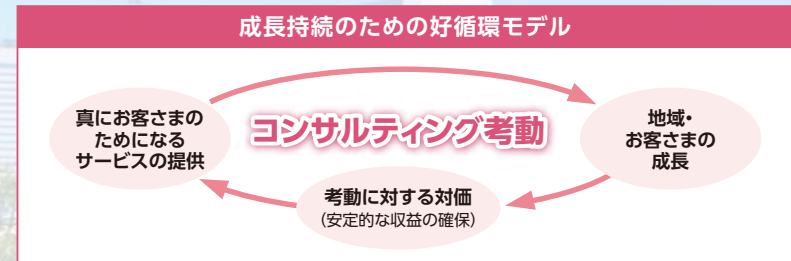
- 組織力(本部体制)の強化
- 人材育成の強化
- 外部連携

### 営業基盤強化

- 顧客基盤の拡充
- 事業性評価に基づく地元企業の成長支援
- お客さまニーズに応える店舗戦略



コンサルティング・バンクの確立  
 〓  
 ニーズ対応力強化  
 〓  
 収益の多角化  
 (顧客基盤強化)



(億円)

	平成27年度実績	割合	平成28年度実績	割合
コア業務粗利益	353	—	332	—
うち預貸金収益	234	66%	224	67%
うち役務収益(※)	89	25.39%	84	25.43%

### 収益構造の変革

(億円)

	平成29年9月実績	割合
コア業務粗利益	160	—
うち預貸金収益	108	67%
うち役務収益(※)	44	27.94%

(億円)

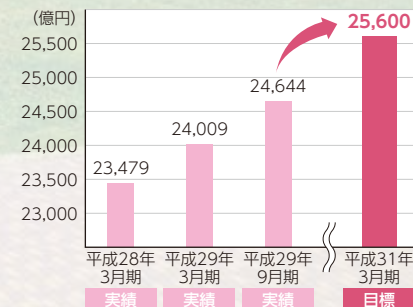
	平成30年度計画	割合
コア業務粗利益	353	—
うち預貸金収益	229	65%
うち役務収益(※)	107	30%

役務収益  
比率30%を  
めざす

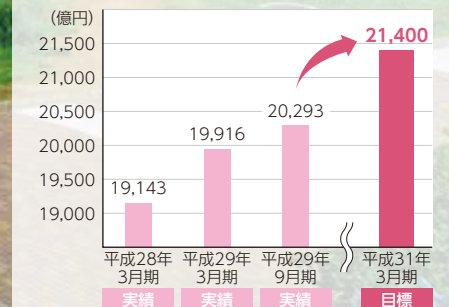
※対顧デリバティブ収益を含む



### 預金



### 貸出金



「地方創生」推進への取組み

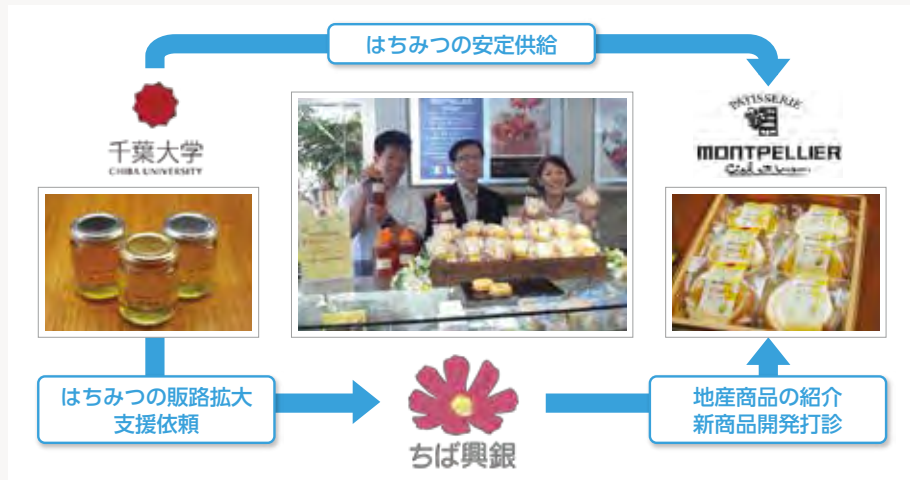
ちば興銀は、地元千葉県の自治体や教育機関、お取引先企業の皆さまと緊密に連携をとりながら、地方創生・地域活性化に向けた取組みを推進し、千葉県のさらなる発展に寄与してまいります。

産 × 学 × ちば興銀

千葉大産「純粋はちみつ」を使用した千産千消ドーナツ完成！【平成29年6月】

千葉大学 柏の葉キャンパスで採れた「純粋はちみつ」を、当行お取引先である創作洋菓子の老舗モンペリエさまに紹介し、コラボ商品「はちみつドーナツ」が完成いたしました。

県産はちみつを贅沢に使用した「はちみつドーナツ」は、モンペリエ市川本店のほか、JR千葉駅のペリエ千葉エキナカでも販売され、大好評となりました。



学 × ちば興銀

千葉大学と「連携協力に関する基本協定書」を締結【平成29年6月】

包括連携協力により、学術・文化の振興と活力ある地域社会経済の形成を図り、地域社会に貢献してまいります。



学 × ちば興銀

千葉商科大学の医療関連セミナーで講演【平成29年5月】

千葉商科大学の医療関係者向けセミナーに当行行員が講師として招かれ、「医療・福祉施設への金融機関としての融資判断のポイント」のテーマで講演いたしました。

医療・介護業界の特徴とともに、銀行がどのような目線をもって融資判断を行っているか等の説明をいたしました。

当行は金融機関では初となる「医療経営士1級」合格者を含めた、医療経営士資格保有者が多数在籍し、医療・介護事業者の皆さまからの各種ご相談に対応しております。



産 × 官 × ちば興銀

「道の駅」活性化事業を支援！【平成29年9月】

当行お取引先が、南房総市にある「道の駅 白浜野島崎」を活性化させようと指定管理者になったことから、当行はこの事業を支援し、地域を元気にする取組みをともに開始しました。

第一弾として「道の駅」に農産物等の直売所を建設します。直売所の隣地には、いちご狩りができるような高設栽培システムを整備したハウスが用意されており、さらなる規模拡大も計画されています。

この事業により、地元南房総市においては以下のような効果が期待されています。

- ① 耕作放棄地や遊休ハウスの活用
- ② 高齢者や障がい者も含めた雇用の促進
- ③ 直売所で、地元農家が生産した野菜・花き・果物の販売
- ④ 観光客の誘致

当行は本件事業推進にあたり、設備資金の提供だけでなく、当行コンサルタント支援室アグリ・フードビジネス担当が南房総市と連携し、計画の初期段階から関与して支援を行っております。本件事業は、地域の農業再生に貢献していくとともに、地域経済にも大きく寄与するものと思われまます。



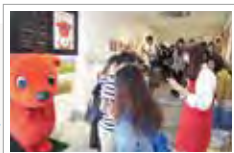
販路拡大 × 海外進出支援

期間限定「チーバくんcafé in 台湾」の開催 【平成29年7月】

当行創立65周年記念イベントの一環として、台湾において千葉県の魅力を伝え、国際観光振興を促すイベントを開催いたしました。千葉県の観光プロモーション活動に加え、当行お取引先企業の商品やサービスのPRの場としてご活用いただきました。

イベント内容(7月15日・16日)

- 千葉県の魅力を伝える情報発信
- 県PRマスコットキャラクター「チーバくん」来店
- 参加企業の自社商品PR
- 県産日本酒の試飲、焼き菓子の試食、ほか

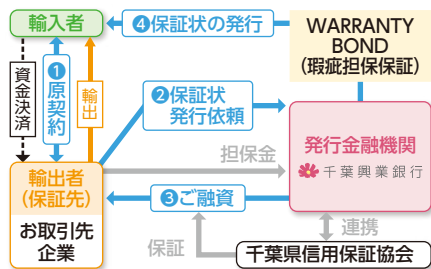


海外進出支援

全国初の保証スキームを活用し、輸出案件を支援！【平成29年6月】

千葉県信用保証協会が全国で初めて創設した『L/G輸出パック保証』(\*)を活用し、お取引先からの依頼に基づき保証状を発行しました。

万が一、保証条件に該当する支払請求があった場合には、当行が原契約に関わらず、無条件で輸入者さまに保証金額をお支払いするという効力が生じ、当社の輸出取引の円滑化を図ることが可能になります。



※海外の市場開拓に向けた県内中小企業者・小規模事業者の「輸出」を支援するメニュー拡充のため平成29年3月に千葉県信用保証協会によって創設された仕組みであり、全国の信用保証協会が初の保証スキームです。

海外進出支援

お取引先の海外進出に伴い、現地での資金調達を支援！【平成29年6月】

平成28年12月に締結した芙蓉総合リース株式会社との海外ファイナンスの取組みに関する業務連携に基づき、当行お取引先の米国現地法人に対し、債務保証を行いました。

これにより、当社は米国市場での資金調達が可能となりました。

スキーム図



※スタンバイ・クレジット(Stand-by Letter of Credit)とは、債務保証などのために発行依頼人の委任と指図に基づいて、銀行が支払いを保証する取消不能信用状のことです。

地域のお客さまのコンサルティング・バンクとして

ちば興銀は、地域のお客さまのニーズにお応えし、皆さまのお役に立つ情報を発信し続けてまいります。

「今さら聞けない投資のヒミツ」セミナー

話題の投資信託を運用するカリスマファンドマネージャーが語る！【平成29年7月】

今話題の投資信託を運用するレオス・キャピタルワークス株式会社の代表取締役最高投資責任者 藤野 英人氏を講師としてお招きし、千葉工業大学にて「今さら聞けない投資のヒミツ」セミナーを開催いたしました。

利益をあげ、成長する企業に投資を行うため、直接、企業のもとに足を運び、全国をかけまわっている藤野氏の話は「投資」のイメージをガラリと変える興味深いものでした。

当日は500名を超える方々にご参加いただき、参加者の皆さまに大変ご好評をいただきました。



人工知能(AI)を活用して運用する投資信託商品の取扱い開始！

期間限定でお申込手数料無料キャンペーンも実施 【平成29年10月】

ヤフーグループ3社が一体となって運用する投資信託「Yjamプラス！」「Yjamライト！」の取扱いを開始いたしました。本商品の取扱いは、首都圏地銀では当行が初めてとなります。

「Yjamプラス！」は、人工知能(AI)を活用し、ビッグデータの解析、株価の予測等を通じて、継続的な運用の強化・充実を図る商品です。

また同時に、「いい投資の日」(11月14日)を含む平成29年10月20日(金)～平成29年12月28日(木)まで、「いい投資の日」投資信託お申込手数料無料キャンペーンも実施いたします。



「つみたてNISA」のお申込受付開始！【平成29年10月】

平成29年10月2日(月)より「つみたてNISA」口座開設のお申込受付を開始いたしました。

「つみたてNISA」は、積立による長期投資を後押ししていく観点から平成29年度税制改正において、これまで投資経験のないお客さまにも、少額から資産形成をしていただきやすい制度となっております。

※「つみたてNISA」の対象となる商品は一定の基準を満たしたものに限られます。

※本ページは当行のセミナーやサービス内容をご説明する目的で作成しており、特定の投資型金融商品の勧誘・奨励を目的とするものではありません。

※「つみたてNISA」対象商品・本ミニディスクロージャー誌に掲載している商品概要や詳細については、当行本支店窓口および当行ホームページ(<https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>)でご確認ください。

## サービスのご提供

### 「ちば興銀宝くじサービス」で高額当せんが連続！【平成29年7月】



黄色で色が塗ってある街の、「ちば興銀ATM」で、過去に高額当せんが出ています！



※ロト7、ロト6、ミニロトの1等および2等当せんを高額当せんとしております。(当行調べ)

お近くのちば興銀のATMで数字選択式宝くじが購入できる「ちば興銀宝くじサービス」は、お客さまに大変ご好評をいただいております。

本サービスで取扱いをしている「数字選択式全国自治宝くじ(ロト6)」において、平成29年7月24日の抽せん日に1等当せん約3億9千万円が出ました。

同じ週の7月27日の抽せん日でも(ロト6)2等当せん約1千7百万円が出て、高額当せんが続きました。

### 「ちば興銀宝くじサービス」のご案内



お取扱商品	ロト7、ロト6、ミニロト、ナンバーズ3、ナンバーズ4
宝くじをご購入いただけるお客さま	千葉興業銀行の普通預金、総合口座、貯蓄預金のキャッシュカードをお持ちの個人のお客さま ※当行から振入金ができないお口座のキャッシュカードはご利用いただけません。 ※未成年の方のご利用はご遠慮ください。
販売場所	千葉興業銀行本支店・キャッシュコーナーのATM ※一部店舗および機種によりお取扱できない場合がございます。
販売時間	年末年始(12月31日～1月3日)を除く、原則、千葉興業銀行ATM稼働日の8:00～20:00(ただし、抽せん日に該当するくじは18:30販売終了) ※ただし、各販売場所のATM稼働時間内での販売となります。 くわしくは、ちば興銀の窓口へお問い合わせください。

なお、宝くじ売上金の約40%は収益金として地方自治体に納められます。この収益金は、公共事業等に役立てられ、地域の発展にも寄与するサービスとなっております。

## 安心・安全にご利用いただくために

お客さまの大切な預金をお守りするために、さまざまな取組みを行っております。

### ATM画面での「電話de詐欺」注意喚起

年金支給日より一定期間、当行に年金受け取り口座をご指定いただいているお客さまがATM操作をした場合、ATM画面に「電話de詐欺」への注意呼び掛けを表示しております。



### 振り込め詐欺等撲滅強化推進期間【平成29年10月】

全国銀行協会が10月を「振り込め詐欺等撲滅強化推進期間」に定めていることから、県内全店において10月13日の年金支給日を中心に、「STOP! 電話de詐欺」ポケットティッシュを配布し、特殊詐欺被害の未然防止に向けた活動を展開いたしました。

さらに、警察や地元金融機関と連携して、電話de詐欺の被害未然防止を呼び掛けるイベントを千葉、成田の駅前で行い、注意喚起を行いました。

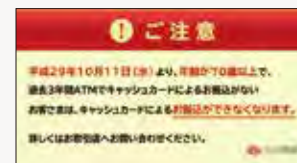


千葉駅前イベントの様子

### 70歳以上のお客さまのATMお振込制限を開始【平成29年10月】

金融犯罪への対策として、当行はこれまでも窓口での現金お引き出しの際の声かけ等を行ってまいりました。しかしながら、お客さまをATMに誘導して預金を振り込ませる「還付金詐欺」などの金融犯罪がいまだに多発していることから、一部のお客さまについては、お振込を制限させていただくことにいたしました。

お客さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



ATM画面でのお振込制限のお知らせ

対象となるお客さま	70歳以上で、過去3年間ATMでのキャッシュカードによるお振込がない個人・個人事業主のお客さま
制限の内容	ATM(当行、振込取引可能な他行)で当行キャッシュカードによるお振込ができなくなります。
実施日	平成29年10月11日(水)より
キャッシュカードによるお振込をご希望のお客さま	平成29年10月11日(水)以降、当行本支店の窓口にてキャッシュカードによるお振込ができるようお手続きいたします。

ATMお振込制限の導入により、千葉県警察より感謝状を授与されました。



CSRの取組み～地域社会・地域経済への貢献～

ちば興銀マッチデー「CKB OCEAN FESTIVAL」開催！

平成29年8月11日、ZOZOマリンスタジアムで行われた千葉ロッテマリーンズvs埼玉西武ライオンズの試合を、ちば興銀マッチデー「CKB OCEAN FESTIVAL」として開催いたしました。

試合当日、ちば興銀ブースにおいては、さまざまなイベントを開催し、大変な盛況となりました。



金融教育活動



地域経済の将来を担う児童や学生達の金融教育に携わり、普及活動に取り組んでおります。



夏休体験隊「サマーキッズスクール2017」

県内の小学5、6年生を対象にQVCマリンフィールドで11回目となる金融教育・しごと体験イベントを実施

環境への取組み



環境の保全と美化に努め、千葉県の豊かな自然環境を未来に引き継いでいくための活動を行っております。



ちば興銀の森

匝瑳市新堀海岸県有林の再生をめざして、毎年1,000本の植栽や草刈による海岸保安林再生活動を展開  
これまでに計4,000本の植栽を実施

ちば興銀は、地域とともに歩む銀行として、これからもさまざまな活動を通して地域社会・地域経済へ貢献してまいります。

社会奉仕活動

未来を担う子どもたちの安全と健全な育成を願い、寄付・募金活動などにも積極的に取り組んでおります。



献血活動の実施

「日本赤十字社献血サポーター」登録企業として、毎年春・秋の2回、行員・スタッフが協力



「小さな親切」運動の推進

33都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として活動  
被災者支援のための募金活動などを実施

文化・スポーツ活動

地域の文化活動やスポーツ振興のため、長年にわたり、さまざまなイベントを協賛・開催しております。



ちば興銀コスモスコンサート

そごう千葉店前JR連絡口広場にてミニコンサート  
を24年間連続で開催



千葉興業銀行杯 親善ゲートボール大会

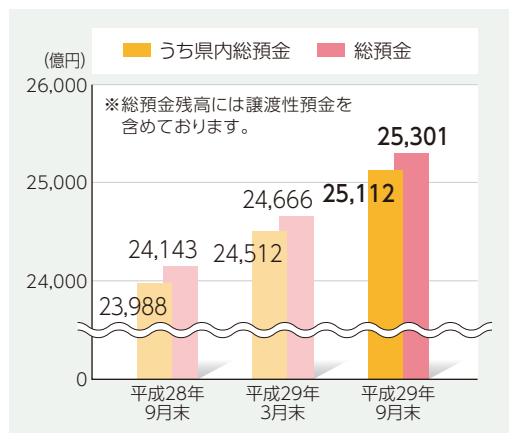
千葉県ゲートボール連盟との共催により、28年連続で開催

平成29年9月期の業績につきましては、預金・貸出金ともに順調に増加しました。特に貸出金残高につきましては、当行が持つコンサルティング機能を発揮し、地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしてまいりました結果、中小企業向け、個人向け貸出ともに増加しております。

(注)当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計計数を「県内」計数として表示しております。

### 総預金残高

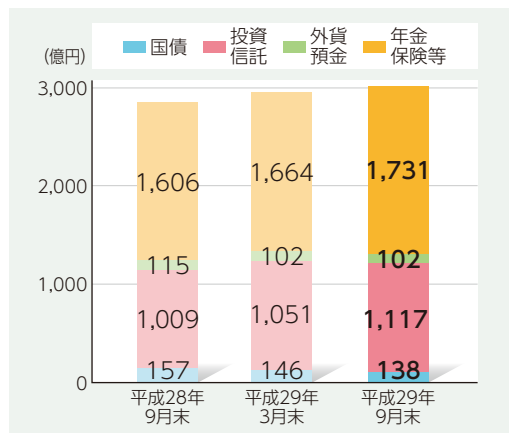
総預金残高は、法人預金、個人預金ともに増加し、前年同期比1,157億円と大幅に増加し、2兆5,301億円となりました。



### 預り資産

年金保険等は、前年同期比124億円増加し、1,731億円となりました。

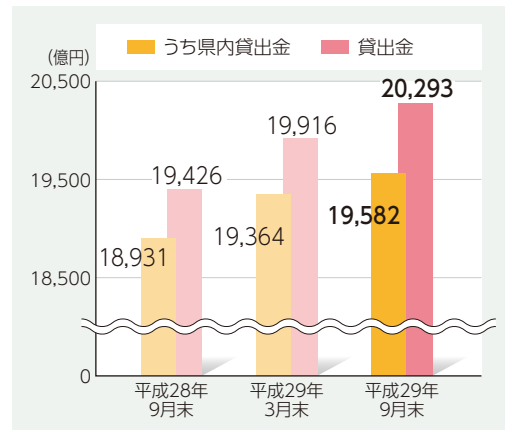
また投資信託は、前年同期比108億円増加し、1,117億円となりました。



グラフ等に記載の計数および解説文中の計数は単位未満切捨て表示となっております。

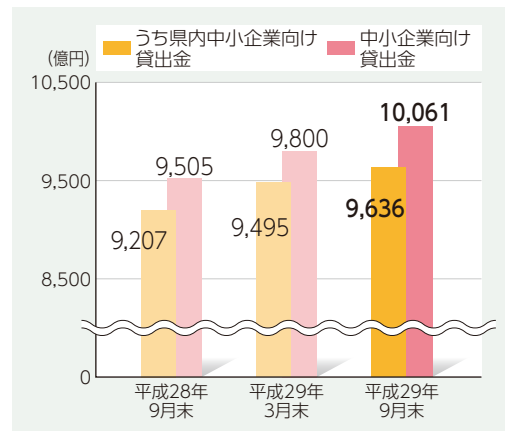
### 貸出金残高

貸出金残高は、前年同期比866億円と大幅に増加し、2兆293億円となりました。そのほとんどを県内の企業や個人のお客さまへの貸出しに向けております。



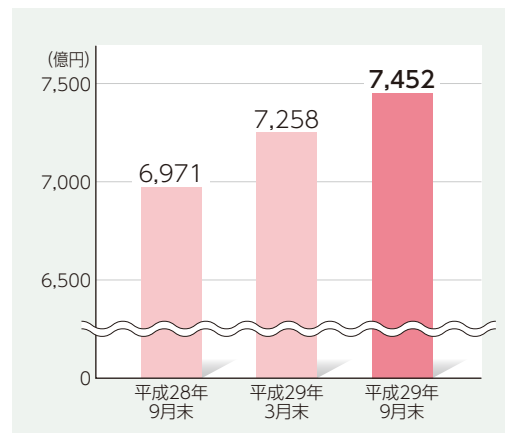
### 中小企業向け貸出金残高

中小企業向け貸出金残高は、前年同期比555億円増加し、1兆61億円となりました。



### 住宅ローン残高

住宅ローン残高は、住宅販売会社との連携強化等により、前年同期比481億円増加し、7,452億円となりました。





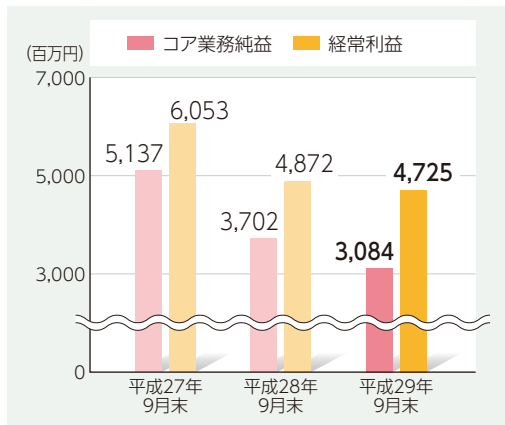
## コア業務純益・経常利益

貸出金残高は順調に増加したものの、利回りが低下したため、資金利益は減少しました。

これにより、コア業務純益は、前年同期比6億17百万円減少し、30億84百万円となりました。

また、経常利益は、前年同期比1億46百万円減少し、47億25百万円となりました。

コア業務純益  
 コア業務 = 一般貸倒引当金 - 国債等債券  
 純益 = 繰入前の業務純益 - 関係損益

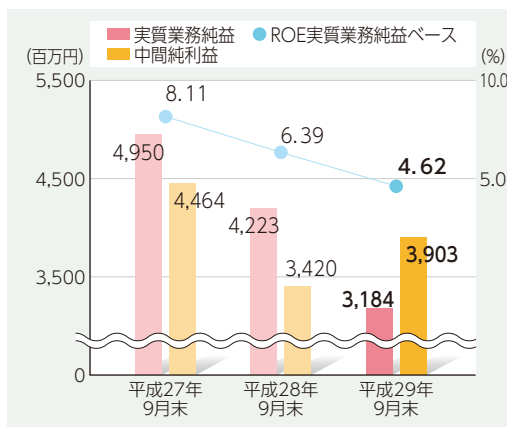


## 実質業務純益・中間純利益・ROE(株主資本利益率)

実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前の業務純益)は、前年同期比10億39百万円減少し、31億84百万円となりました。

中間純利益は、前年同期比4億82百万円増加の39億3百万円となりました。

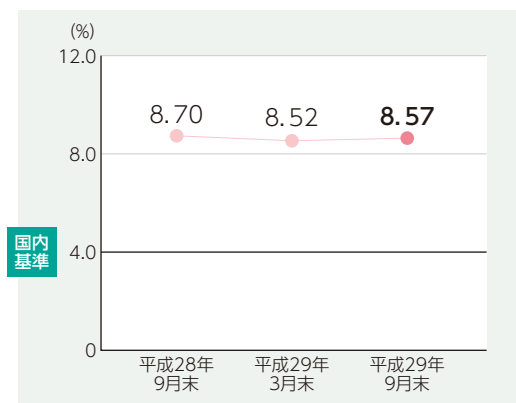
その結果、ROE(株主資本利益率)は、実質業務純益ベースで前年同期比1.76ポイントの減少となりました。



ROE(実質業務純益ベース) ROE(株主資本利益率) = 実質業務純益 ÷ 純資産の部合計平残 × 100  
 値が大きいほど株式資本の「収益性」が高いことを示しています。

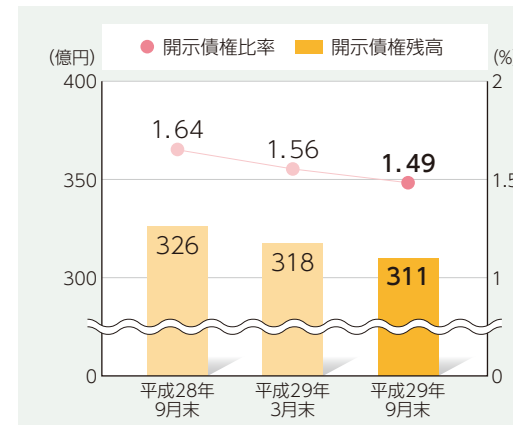
## 自己資本比率(バーゼルⅢ)

自己資本比率は、平成29年3月末比0.05ポイント上昇し、8.57%となりました。



## 開示債権比率(金融再生法基準)

お取引先企業と強固なリレーションを構築し、経営改善の支援に取り組んだ結果、金融再生法基準の開示債権比率は、平成29年3月末比0.06ポイント減少の1.49%、正常債権を除いた「開示債権」の平成29年9月末残高は、平成29年3月末比6億円減少の311億円となりました。



## 事業性評価への取組み

地域密着型金融の推進による地域経済や地元の産業・企業の発展への貢献に向け、財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、お取引先企業の事業内容や成長可能性等を適切に把握した上で(事業性評価)、これまで以上に、企業の各種ニーズや経営課題に対する各種ソリューションを提供してまいります。

事業性評価にあたっては、お取引先企業の財務状況などの定量的な分析に加え、企業のビジネスモデル、商流、組織力、技術力といった定性的な分析を行い、経営課題やニーズの把握を行ってまいります。

## 経営者保証に関するガイドラインへの対応

経営者保証に関するガイドラインの趣旨や内容を十分に踏まえ、経営者保証に依存しない融資の促進と、既存の保証契約の見直しに取り組んでおります。

	平成28年度実績	平成29年度上期実績
新規で無保証で融資した件数	1,509	739
保証契約を変更した件数	2	2
保証契約を解除した件数	27	21
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	12.3%	13.1%

第96期中(平成29年9月30日現在)中間貸借対照表 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	129,979	預金	2,464,421
買入金銭債権	116	譲渡性預金	65,700
商品有価証券	37	債券貸借取引受入担保金	16,990
有価証券	529,992	借入金	11,877
貸出金	2,029,322	外国為替	121
外国為替	2,460	その他負債	7,202
その他資産	10,339	未払法人税等	313
その他の資産	10,339	リース債務	1,027
有形固定資産	20,077	その他の負債	5,861
無形固定資産	2,202	退職給付引当金	5,673
繰延税金資産	5,562	睡眠預金払戻損失引当金	890
支払承諾見返	13,355	支払承諾	13,355
貸倒引当金	△8,072	<b>負債の部合計</b>	<b>2,586,233</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	62,120
		資本剰余金	9,403
		資本準備金	6,971
		その他資本剰余金	2,431
		利益剰余金	66,779
		利益準備金	5,328
		その他利益剰余金	61,450
		繰越利益剰余金	61,450
		自己株式	△39
		株主資本合計	138,263
		その他有価証券評価差額金	10,829
		評価・換算差額等合計	10,829
		新株予約権	48
		<b>純資産の部合計</b>	<b>149,141</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>2,735,374</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,735,374</b>

第96期中(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)中間損益計算書 (単位:百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>21,413</b>
資金運用収益	14,100
(うち貸出金利息)	(11,151)
(うち有価証券利息配当金)	(2,809)
役員取引等収益	4,416
その他業務収益	785
その他経常収益	2,111
<b>経常費用</b>	<b>16,688</b>
資金調達費用	554
(うち預金利息)	(349)
役員取引等費用	2,282
その他業務費用	357
営業経費	13,206
その他経常費用	286
<b>経常利益</b>	<b>4,725</b>
特別損失	40
<b>税引前中間純利益</b>	<b>4,685</b>
法人税、住民税及び事業税	188
法人税等調整額	593
<b>法人税等合計</b>	<b>781</b>
<b>中間純利益</b>	<b>3,903</b>

第96期中(平成29年9月30日現在)中間連結貸借対照表 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
現金預け金	129,984	預金	2,449,304
買入金銭債権	116	譲渡性預金	65,700
商品有価証券	37	債券貸借取引受入担保金	16,990
有価証券	530,198	借入金	26,485
貸出金	2,022,778	外国為替	121
外国為替	2,460	その他負債	14,760
その他資産	33,313	退職給付に係る負債	9,055
有形固定資産	20,175	役員退職慰労引当金	51
無形固定資産	2,647	睡眠預金払戻損失引当金	890
繰延税金資産	6,654	繰延税金負債	150
支払承諾見返	13,356	支払承諾	13,356
貸倒引当金	△10,601	<b>負債の部合計</b>	<b>2,596,866</b>
		<b>(純資産の部)</b>	
		資本金	62,120
		資本剰余金	9,402
		利益剰余金	70,925
		自己株式	△39
		株主資本合計	142,409
		その他有価証券評価差額金	10,866
		退職給付に係る調整累計額	△2,234
		その他の包括利益累計額合計	8,632
		新株予約権	48
		非支配株主持分	3,164
		<b>純資産の部合計</b>	<b>154,254</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>2,751,121</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,751,121</b>

第96期中(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)中間連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	金額
<b>経常収益</b>	<b>25,412</b>
資金運用収益	13,726
(うち貸出金利息)	(11,169)
(うち有価証券利息配当金)	(2,417)
役員取引等収益	4,888
その他業務収益	785
その他経常収益	6,012
<b>経常費用</b>	<b>20,462</b>
資金調達費用	612
(うち預金利息)	(348)
役員取引等費用	1,859
その他業務費用	357
営業経費	13,104
その他経常費用	4,527
<b>経常利益</b>	<b>4,950</b>
特別損失	40
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>4,910</b>
法人税、住民税及び事業税	364
法人税等調整額	607
<b>法人税等合計</b>	<b>971</b>
<b>中間純利益</b>	<b>3,938</b>
非支配株主に帰属する中間純利益	59
親会社株主に帰属する中間純利益	3,879

第96期中(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)中間株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

	株主資本							自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	新株予約権	純資産合計
	資本金	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計						
当期首残高	62,120	6,971	2,442	9,414	4,916	60,019	64,935	△60	136,409	9,578	9,578	47	146,036
当中間期変動額													
剰余金の配当					411	△2,471	△2,059		△2,059				△2,059
中間純利益						3,903	3,903		3,903				3,903
自己株式の取得								△0	△0				△0
自己株式の処分			△11	△11				21	10				10
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)										1,250	1,250	0	1,251
当中間期変動額合計	-	-	△11	△11	411	1,431	1,843	21	1,853	1,250	1,250	0	3,104
当中間期末残高	62,120	6,971	2,431	9,403	5,328	61,450	66,779	△39	138,263	10,829	10,829	48	149,141

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第96期中(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)中間連結株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額			
当期首残高	62,120	9,413	69,105	△60	140,579	9,602	△2,425	7,177	47	2,919	150,724
当中間期変動額											
剰余金の配当			△2,059		△2,059						△2,059
親会社株主に帰属する中間純利益			3,879		3,879						3,879
自己株式の取得				△0	△0						△0
自己株式の処分		△11		21	10						10
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)						1,263	191	1,455	0	244	1,700
当中間期変動額合計	-	△11	1,819	21	1,829	1,263	191	1,455	0	244	3,530
当中間期末残高	62,120	9,402	70,925	△39	142,409	10,866	△2,234	8,632	48	3,164	154,254

格付け

当行は、中立的な第三者による評価を取得し公表することで、投資家の皆さまやお取引先の皆さまに財務内容の健全性や収益性などについてご理解いただくため、平成18年10月より株式会社日本格付研究所(JCR)から長期発行体格付<sup>(※1)</sup>を取得し公表しております。



格付け [A-(シングルAマイナス)]  
【据え置き】

格付け見通し [安定的]  
【据え置き】

(格付けの公表:平成29年10月27日)

(※1)長期発行体格付:債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。

利益分配に関する基本方針

当行は、銀行業としての公共性に鑑み、健全経営を確保するため内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当に努めていくことを基本方針としております。

普通株式の配当 当期の普通株式の配当につきましては、5月に公表のとおり、本年度末に1株当たり3円の配当をいたしたいと存じます。

優先株式の配当 当期の優先株式の配当につきましては、5月に公表のとおり、本年度末に所定の配当をいたしたいと存じます。

株主優待制度の拡充

日頃のご支援に感謝の意をこめて、ご優待制度の拡充に努めております。

平成29年3月31日現在で、千葉興業銀行の株式を100株以上所有されている個人・法人の株主さまを対象に「株主優待定期預金」の制度を引き続きお取扱いしております(平成29年7月1日～平成30年3月31日)。

「さわやかハロー24」<sup>(※2)</sup>ともども、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

(※2)「さわやかハロー24」:当行の株主さまに無料で、健康や医療に関するご相談をベテランの医師などが電話でお受けするサービスです。健康・医療相談のほか、夜間・休日診療の医療機関のご案内、医療機関情報のご提供、介護などシルバー情報のご提供についてご利用いただけます。

役員 (平成29年11月30日現在)

取締役 頭取・CEO	青柳 俊一	常勤監査役	稲葉 保実
取締役 副頭取・COO	松丸 隆一	常勤監査役	松井 一登
専務取締役・専務執行役員	星野 智史	監査役	五日市 喬弘
常務取締役・常務執行役員	立野 嘉明	監査役	安藤 正紀
取締役	戸谷 久子		
取締役	山田 英司		

(注)取締役戸谷久子氏、取締役山田英司氏、監査役五日市喬弘氏および監査役安藤正紀氏は、東京証券取引所有価証券上場規程第436条の2にいう独立役員であります。

株式の状況 (平成29年9月30日現在)

1 株式数

株式の種類	発行可能株式総数
普通株式	296,000千株
第二種優先株式	5,000千株
第四種優先株式	7,500千株
第1回第五種優先株式	700千株
第2回第五種優先株式	700千株
第3回第五種優先株式	700千株
第4回第五種優先株式	700千株
第5回第五種優先株式	700千株
第6回第五種優先株式	700千株
第7回第五種優先株式	700千株
第8回第五種優先株式	700千株
第9回第五種優先株式	700千株
第10回第五種優先株式	700千株
第1回第六種優先株式	700千株
第2回第六種優先株式	700千株
第3回第六種優先株式	700千株
第4回第六種優先株式	700千株
第5回第六種優先株式	700千株
第6回第六種優先株式	700千株
第7回第六種優先株式	700千株
第8回第六種優先株式	700千株
第9回第六種優先株式	700千株
第10回第六種優先株式	700千株
第1回第七種優先株式	700千株
第2回第七種優先株式	700千株
第3回第七種優先株式	700千株
第4回第七種優先株式	700千株
第5回第七種優先株式	700千株

(注)第1回ないし第10回第五種優先株式の発行可能種類株式総数は併せて2,500,000株、第1回ないし第10回第六種優先株式の発行可能種類株式総数は併せて2,500,000株、第1回ないし第5回第七種優先株式の発行可能種類株式総数は併せて2,500,000株をそれぞれ超えないものとしております。

株式の種類	発行済株式の総数
普通株式	62,222千株
第二種優先株式	5,000千株
第四種優先株式	4,650千株
第1回第六種優先株式	600千株

(注)株式数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2 株主数

株式の種類	株主数
普通株式	11,386名
第二種優先株式	1名
第四種優先株式	152名
第1回第六種優先株式	22名

3 大株主

株式の種類	株主の氏名又は名称	当行への出資状況	
		持株数等(千株)	持株比率(%)
普通株式	株式会社みずほ銀行	9,583	15.41
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,871	4.61
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,660	4.27
	CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	1,338	2.15
	坂本飼料株式会社	1,249	2.00
	GOVERNMENT OF NORWAY	1,197	1.92
	明治安田生命保険相互会社	1,158	1.86
	DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1,136	1.82
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,004	1.61
	千葉興業銀行行員持株会	960	1.54
第二種優先株式	株式会社みずほ銀行	5,000	100.00
	キッコーマン株式会社	200	4.30
第四種優先株式	明治安田生命保険相互会社	200	4.30
	株式会社ヤクルト本社	180	3.87
	株式会社クレックス	160	3.44
	芙蓉総合リース株式会社	160	3.44
	イオン株式会社	100	2.15
	株式会社オリエンタルランド	100	2.15
	京葉瓦斯株式会社	100	2.15
	株式会社ケーヨー	100	2.15
	成田山新勝寺	100	2.15
	フクダ電子株式会社	100	2.15
第1回第六種優先株式	興銀リース株式会社	100	16.66
	東京建物株式会社	100	16.66
	芙蓉総合リース株式会社	100	16.66
	安田不動産株式会社	100	16.66
	株式会社クレックス	30	5.00
	株式会社サトー商会	25	4.16
	東武鉄道株式会社	20	3.33
	株式会社オリエンタルランド	15	2.50
	成田山新勝寺	15	2.50
	公益財団法人日産財団	15	2.50

(注)1.持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
3.普通株式の持株比率は自己株式(36,066株)を控除して、算出しております。

## 株式のご案内

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 配当受領株主確定日 期末配当:毎年3月31日  
中間配当:毎年9月30日
- 定時株主総会 毎事業年度終了後3カ月以内に開催
- 基準日 定時株主総会については、毎年3月31日  
その他必要あるときはあらかじめ公告する一定の日
- 単元株式数 100株
- 公告方法 電子公告(当行ホームページ <https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株式事務取扱場所
 

株主名簿管理人	同事務取扱場所
東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店 証券代行部
- 単元未満株式の買取請求について 単元未満株式をご所有の場合、その単元未満株式を当社が買い取らせていただく制度(買取制度)がございますので、どうぞご利用ください。  
特別口座に記録された株式の買取請求については、下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)において受け付けております。また、証券会社等の口座に記録された株式の買取請求については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座株式のご売却について 特別口座にて管理されている単元株式を売却されるには、事前に証券会社等の口座を開設し、その後振替手続を行っていただく必要があります。お手続き等の詳細は下記株主名簿管理人(特別口座管理機関)にお問い合わせください。

株主名簿管理人(特別口座管理機関) **みずほ信託銀行株式会社**

お問い合わせ先 (郵便物送付先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 ご利用時間 9:00~17:00 土・日・祝日を除く
---------------------	--

### 株主さまのご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主さまのご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等(いわゆる「外字」)が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。  
このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

株主さまのご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

## Topics

### トピックス

お客さまの利便性向上をめざし、  
**店舗の新規出店・新築移転**を  
すすめております。

#### 西葛西支店・新規出店！【平成29年9月】

当行は都内2店舗目となる西葛西支店を新規出店いたしました。  
東京メトロ東西線西葛西駅から徒歩2分にオープンした新店舗には、ゆったりとした「個別相談ブース」を設置し、資産運用などをはじめとするお客さまのマネープランについて、じっくりとご相談いただける環境を整えております。  
また朝8時から夜9時まで利用可能な「ATMコーナー」や、さまざまな金融情報を発信できる「セミナールーム」も設けました。



個別相談ブース



#### おおたかの森支店・新築移転【平成29年6月】

新店舗は、移転によりロードサイド型店舗として生まれ変わりました。  
お子さま連れのお客さまにも安心してゆっくりご相談いただけるよう、キッズスペースや多目的トイレを設置いたしました。  
365日、夜9時まで利用可能な「全自動貸金庫」200ケースを設置しております。



キッズスペース



オープン日には、流山グリーンフェスティバルにご参加いただいた地域のお子さまの「ぬり絵」をロビーに展示いたしました。

流山グリーンフェスティバルの様子



## 企業理念

### 地域とともに

私たちは、地域とともに歩む銀行として、人々の幸せを求めて、豊かなふるさとづくりに努めます。

### お客さまのために

私たちは、積極的にお客さまのニーズに応え、創造性を発揮し、より質の高いサービスの提供に努めます。

### 「親切」の心で

私たちは、心のふれあいを大切にし、自己を磨き、親切ナンバーワンをめざします。

うれしい情報を  
LINEでお届け!

**LINE@ 配信中!**

ちば興銀 公式アカウント

@chibakogin でID検索!



千葉興業銀行

〒261-0001

千葉市美浜区幸町二丁目1番2号

TEL.043-243-2111

<https://www.chibakogyo-bank.co.jp/>

